



JPI催しのご案内

2022
11

公益社団法人日本包装技術協会

— 2022年度の本催しについて —2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。**●開催要領****日 時** ① 令和4年11月7日(月) 14:00～15:10 / ② 令和4年11月10日(木) 14:00～15:30
③ 令和4年11月21日(月) 14:00～15:30 / ④ 令和4年11月29日(火) 10:00～12:00
⑤ 令和4年11月30日(水) 13:30～15:00**参加費** JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名**① 11月7日(月) 14:00～15:10 JPI東北支部主催****【テーマ】『2022日本パッケージングコンテスト入賞作品開発事例発表』**

前半：『魅せるパッケージで脱プラ達成「クロスでパック」』

後半：『リチウムイオン電池100%リサイクルEPSと極限収納』

前半：新商品「アップルリキュール」にてご採用いただいた新形状「クロスでパック®」とエコロジーペーパー「スマートパピエ®」シリーズを紹介する。

新形状「クロスでパック®」は、極薄段ボール「マイクロフルート」と商品をクロスで保持する紙器構造によって、ブリスターパックからの切り替えが可能な新形状である。パッケージ素材にはチョコレートを製造する際に生じる「カカオ豆の皮」を有効活用した紙「カカオミックス®」を使用。形状+素材+印刷を組み合わせることで、商品訴求力を高め且つ環境にやさしいパッケージを実現した。

後半：再生可能エネルギーの蓄電池として注目されるリチウムイオン電池の包装において、バージン材から、欧米等の包装廃棄物規制に準拠できる“100%リサイクルEPS”への代替に取り組んだ事例を紹介する。

所定の包装貨物試験条件を満たしつつも製品収納間隔を縮小極限化することで1包装あたりの製品収納数を向上させた結果、輸送効率の向上、及び、製品1個当りの発泡包装材使用量、輸送コストとCO₂、並びに包装材料コストの削減を実現した。

【講 師】前半：株式会社 クラウン・パッケージ 営業開発部 企画開発課 課長

清 水 美 孝 氏

後半：SBS東芝ロジスティクス株式会社 物流改革推進部 包装・設備技術担当

広 川 秀 美 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>**◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆**〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>**JAPAN PACKAGING INSTITUTE**

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 11月10日(木) 14:00～15:30 JPI西日本支部主催

【テーマ】コンビニ中食容器包装の環境対応

コンビニ市場拡大の軌跡にあって、その中食に使われる容器・包装は環境対応においていかなる変遷を遂げてきたのか。本講演では、長年に渡りコンビニ中食市場を見つめ続けた講師が、豊富なデータ、写真、容器の実物等を用いながら、コンビニ容器包装の環境対応の変遷と今後の展望について解説する。

プラスチック使用量の削減、バイオマスプラスチックの導入、リサイクル材料への転換、紙化、食品ロス削減のためのロングライフ化など、具体的な事例を紹介していく。

【講師】三菱商事パッケージング株式会社 営業本部 パッケージング・テクニカル・アドバイザー

佐藤 久郎 氏

③ 11月21日(月) 14:00～15:30 JPI西日本支部主催

【テーマ】個装箱のコンテナ輸送効率シミュレーション開発の取り組み

コロナ禍の影響によりコンテナ輸送費が以前と比較して大幅に高騰しています。コンテナ輸送費に関して、今後も不透明な状況が続くと思われます。したがって個装箱のコンテナ輸送効率をできるだけ高めて、1個装箱あたりの輸送費を下げるのがより重要になってきています。

コンテナ輸送効率をシミュレーションするためには、既存ソフトの使用や独自に開発するなどの手段が挙げられます。弊社では自社の事情を反映し、個装箱サイズを入力するだけで輸送費が最も安くなるパレタイジング、コンテナロード条件などをシミュレーションできるプログラムを活用しています。

本講演では、自社で開発した上記シミュレーションの基本的な考え方及びプログラムの紹介をします。

【講師】セイコーエプソン株式会社 プリンティングソリューションズ事業本部 P商業・産業企画設計部

服部 和俊 氏

④ 11月29日(火) 10:00～12:00 JPI関西支部主催

【テーマ】パッケージデザインにおける感性評価

製品開発におけるデザイン評価では、機能的な要素は基準が明確で評価しやすい反面、感性的な要素については客観的な指標が確立されているとは言えません。感性的な要素は主観的で、客観的に扱うのが困難と考えがちです。しかし一方で、共通する感覚や価値判断が一定の範囲で成り立っていることも事実です。そこでパッケージデザインを中心に、製品開発において参考となる、デザインの感性評価に関する理論や研究事例を紹介します。

【講師】千葉工業大学 創造工学部デザイン科学科 教授

佐藤 弘喜 氏

⑤ 11月30日(水) 13:30～15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】現状の振動試験の課題と解決に向けて

近年、EC市場の成長に伴い様々な製品が宅配便として輸送される機会が増え、輸送振動によるトラブル(外装の凹みや擦れ、製品の破損等)も増えています。一方で、過剰包装が環境問題として取り上げられることもあります。製品の包装が適切かどうかを評価するためには、実際に荷物をトラック等に載せて道路を走行する方法と、規格に沿った輸送試験を行う方法等があります。前者は定量的に評価することが難しいため、後者を検討する企業も増えてきていますが、試験装置は一般的に高価であり、占有スペースが広く、設置工事・電気工事が必要等、導入ハードルが高いことが課題です。

本講演ではそれらの課題を解決するために開発した、輸送試験用小型振動試験装置m130LSとその活用事例についてご紹介いたします。

【講師】IMV株式会社 技術推進統括本部 R&Dセンター部 コアプロダクト開発課 係長

萬井 公一 氏

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会(ウェビナー)になります。
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>